

神奈川県立座間支援学校 全校保護者会



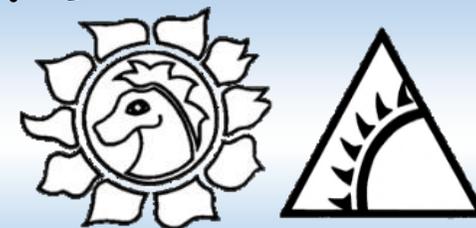
新たなブランドデザイン

令和6～9年度 座間支援学校グランドデザイン



めざすは

よりよく豊かに生きるための力を育む



- 一人一人の心身の発達、障害の状態及び特性に応じた、きめ細やかな教育を実践する。
- 自立と社会参加に必要な知識や技能を養う教育を実践する。
- 「よりよく豊かに生きる」ことを支えるインクルーシブな共生社会の実現に寄与する。

ミッションは

多様な教育ニーズに応じた
専門性の高い指導

センター的機能の充実

自立と社会参加

安全安心な校内体制

地域との連携を生かした
インクルーシブ教育推進

目指す学校像

- あいさつがあふれる学校
- 自分の「好き」が見つかる学校
- 「わかる」「できる」「伝わる」を伸ばす学校
- 子どもも大人も「WEで語る」学校

目指す生徒像

- みんな仲間、お互いを支えあう子ども
- 「好きなこと」を自分なりの方法で伝えることができる子ども
- 自己選択・自己決定できる子ども

地域のみなさまと共に**インクルーシブな学校づくり**を目指します！



令和6年度 学校目標の設定

令和6年度 学校目標

教育課程

学習指導

一人一台端末の整備とICT活用を進め、育てたい力を明確にした指導計画による授業実践・授業改善に取り組む。

令和6年度 学校目標

児童生徒指導・支援

アセスメントに基づいた個のニーズに応じた支援・指導に組織的に取り組む。

令和6年度 学校目標

進路指導・支援

自立や生活の充実のための自己決定・選択力や意思表出力を育成するとともに、本人保護者と適切な進路情報を共有する。

令和6年度 学校目標

地域等との協働

近隣小学校・高校との交流や、地域資源の活用、関係機関との連携を推進する。

センター的機能の充実を図り、インクルーシブ教育推進について理解啓発を図る。

令和6年度 学校目標

学校管理

学校運営

緊急事態に対応する訓練を充実させるとともに、地域一体となった防災体制を構築する。

業務のスリム化を推進し、働きやすい職場環境をつくることにより、事故の未然防止、不祥事ゼロを達成する。

各学部・校務Gの重点取り組み

小中学部の取り組み

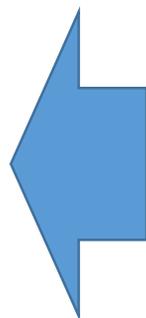
①iPadを活用しよう！

授業や課題学習



日常生活
係活動

コミュニケー
ションツール



教員が様々な活用方法を
知ることが大事！



iPad学習会の実施
研究研修係
情報係との連携



②いろいろな人と関わろう！ (自立と社会参加の観点から)

チャレンジ1 高等部の生徒と関わろう！

チャレンジ2 地域のこどもたちと関わろう！

あいさつを交わそう



休み時間に互いに行き来する

校庭解放タイムを作り
互いに行き来する

授業交流しよう



集会で一緒に踊ったり
ゲームをしたり



近隣の学校との
取り組み

支援連携部
との連携

ステップ1

ステップ2

オール 座間支援からの支援！

主体性が出
せること

授業がわか
りやすこと

仲間との楽
しいやり取
り

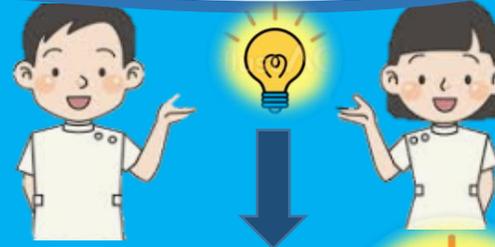
働くことへ
の理解とス
キルアップ



学校生活の
見通しや適
した環境

健康が維持
されている
こと

体が動かし
やすいこと



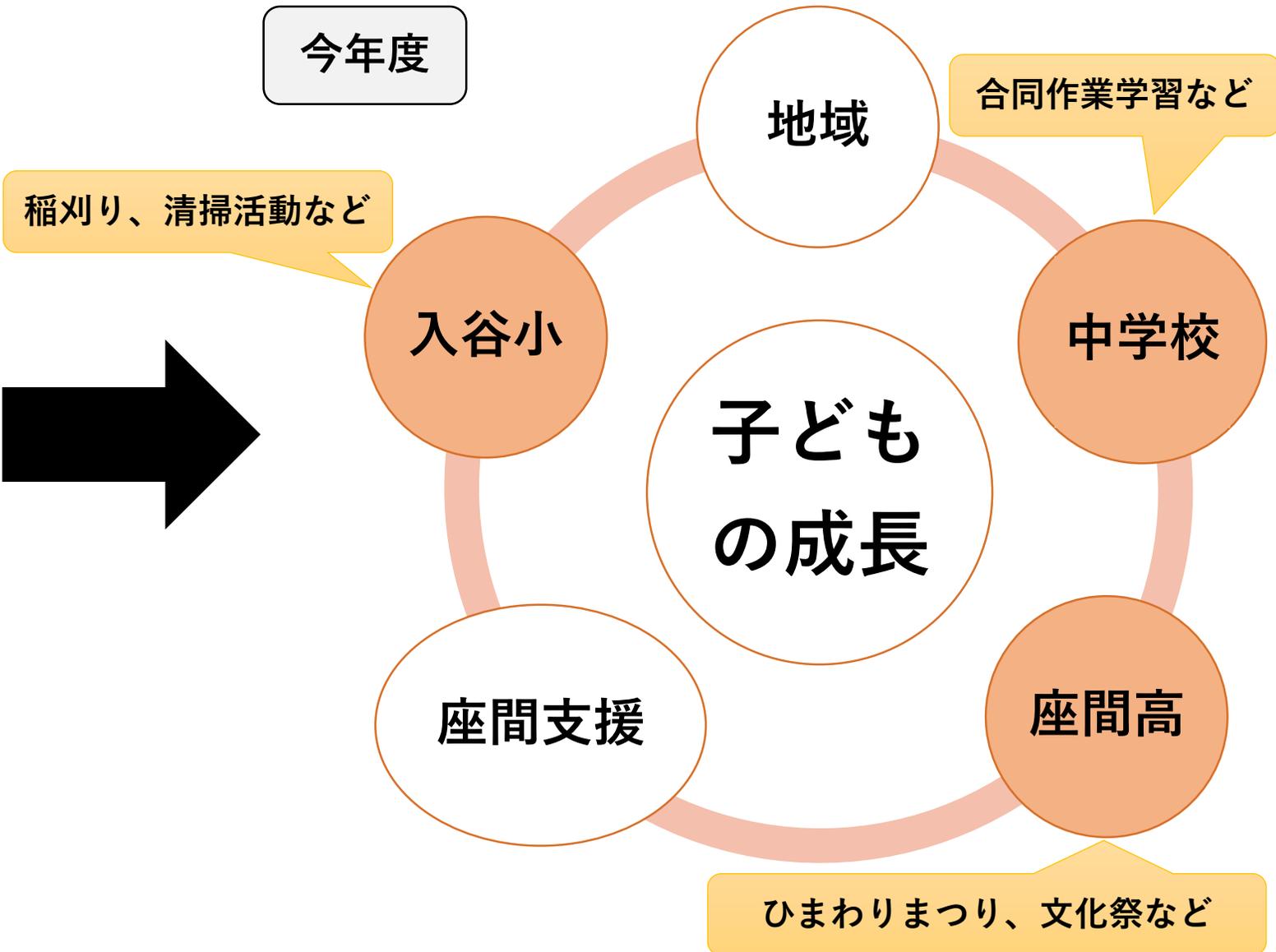
“地域の学校との交流・共同学習”

高B

昨年度



今年度



“地域との連携・協働”

学校 → 地域

地域と連携した作業学習

- ・ 飲食店への製品（座間駅）
- ・ 飲食店の清掃（学校周辺）
- ・ JA、花農家（学校周辺）
- ・ フィットネスジム（座間駅）
- ・ カフェ（座間駅）

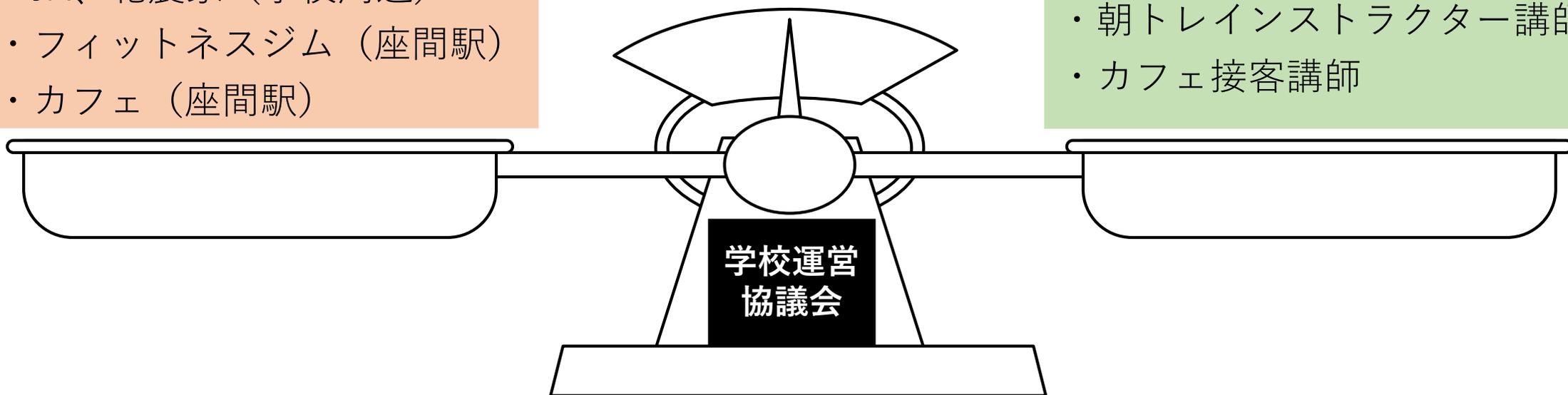
地域 → 学校

学校と連携した作業学習

- ・ お客様の声、感謝の言葉
- ・ 新聞掲載、TV放映
- ・ フラワーアレンジメント講師
- ・ 朝トレインストラクター講師
- ・ カフェ接客講師

双
方
向

学校運営
協議会



地域とのかかわり・出会い・発見・ふれあい

一緒にできて嬉しい！

ほめられて嬉しい！

また頑張ろう！

こんな大人がいるんだ！



ありがとう！

大事にするね！

またお願いね！

助かったよ！

子どもたちの自己有用感・自己肯定感・自信・学習や生活への意欲

有馬分教室の取り組み

進路について 自らすすんで考えることができる

実習に向けたスケジュールの立て方を指導します。



進路に関する資料を調べたり自由に閲覧したりできるようにします。



自分から進路担当教員に相談することができるシステムを作ります。



考えや思いを伝え合うことができる交流

相模向陽館分教室
本校
有馬高等学校



話し合い活動を
大切にします。

相模向陽館分教室の今年度の**主な取組**

① 3年次の**単元配列表**を作成する

※すでに完成している1,2年次のもものと授業間のつながりを意識して作成

② **業務改善**につながる話し合いを定期開催する

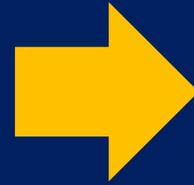
※毎月の室会にその月実施した業務(行事等)の振り返りを行う

③ 相模向陽館高校や有馬分教室との**交流**

※次ページで詳しく説明いたします

●相模向陽館**高校**との交流

- ・ 体育祭
- ・ 文化祭
- ・ 避難訓練 / 保健学習



R 6 年度

高校バスケットボール部との
交流がスタート

高校の先生による
研修(情報)がスタート

●**有馬**分教室との交流

- ・ オンライン交流
- ・ 直接交流
- ・ ひまわりまつり



R 6 年度

1人一台端末
(chromebook)を使用した
交流がスタート

カリキュラム部 取組の重点①

アセスメントを活用し、支援に活かす

子どもの行動の様子を捉え、効果的な支援につなげるための検査や面談のこと



専門職と連携した研修会

“見える”児童生徒の姿



アセスメントの結果

お子さんの状況（到達度や行動の様子）を把握する



☆ 『個別教育計画』 の適切な目標を設定
☆ 支援方法の検討 ☆ 日々の授業、支援に活かす



「教材研究」 ・ 「事務作業」 の時間の 確保

課題

時間外労働の常体化



取組

- ① 授業時間（日々の時間割）の見直し
 - ② 行事予定の見直し
- 授業時間は正しく行った上で 時間的なゆとりを生み出す

目標

「教材研究」 ・ 「事務作業」 の時間の確保

指導 ・ 支援に還元



健康的な職場



令和6年度 指導研究部の取り組み

どの児童生徒も、できるだけともに学ぶことができる
インクルーシブな学校づくりを推進します。

4年間
を通して
の目標

個々の児童生徒の障がい・健康等の状況に応じた学習保障を行い、
「誰一人取り残さない」教育の推進を目指します。

今年度
グループとして
達成したいこと

校内研究や研修を通し、一層の授業改善に取り組み、教師の専門性の向上に寄与する。

児童生徒が、安心・安全でいられる校内体制の整備を行う。

研究研修係

- 一人一台端末に向け、教員の操作経験の十分な保障
- 事例紹介をもとに全員がICT機器活用を推進・共有できる組織作り

保健給食係

- 薬の扱いや食物アレルギーについて主治医や保護者との連携の強化
- 食育の全体計画に基づく指導の実施と、栄養教諭との連携

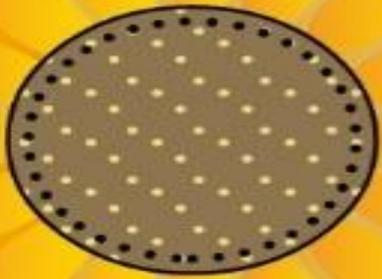
医療的ケア係

- 医療的ケア担当教員向けの研修を通じた資質能力の向上
- 安全に医療的ケアを実施するための個別マニュアルの精査
- 医療的ケア児通学支援事業での、事業者との関係づくり

重点的な
取り組み



安心・安全な学校生活に向けて

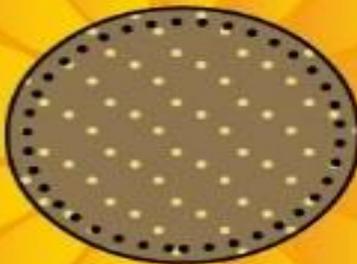


会計係

私費会計に係る業務

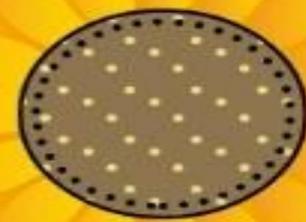
スクールバス係

スクールバス運行に係る業務



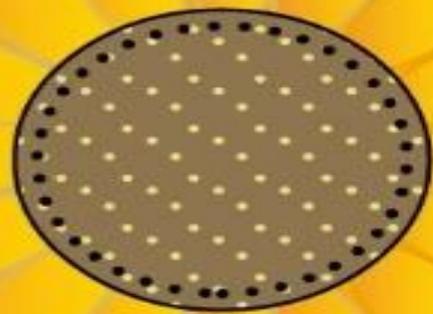
情報係

校内情報に係る業務



物品管理係

備品・消耗品管理に係る業務



防災防犯係

防災防犯に係る業務

令和6年度 環境安全部

一人一台端末の取り組みとICT活用推進

わかる

できる

育てたい力を明確にした指導計画
による授業実践・授業改善

研究研修係と情報係が連携して

パソコンの初期化等の準備整備を教員で実施



できる

安心して快適な教育環境の整備

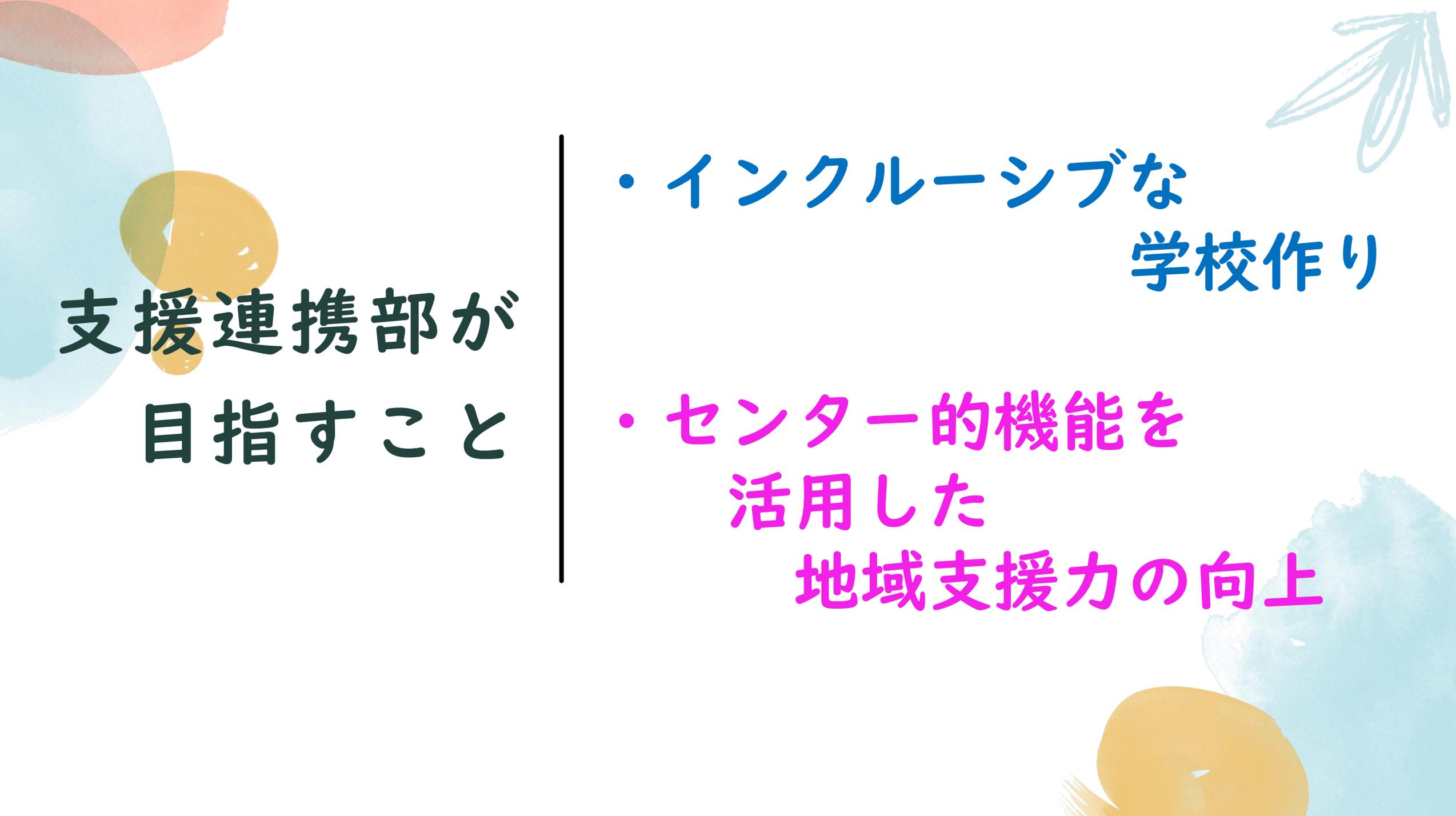
適正な会計処理

不審者侵入対策・防災体制の構築

充実した学習に必要な物品の購入・管理

スクールバス内緊急時対応対策





支援連携部が 目指すこと

- ・ インクルーシブな
学校作り
- ・ センターの機能を
活用した
地域支援力の向上

教育部門、生活年齢等に応じて、実施するアセスメントを使い分けながら、子どもたちへのより良い支援を、考えていきます

学部、部門を超えた交流や、ゲストティーチャーの活用を通して、子どもたち同士のつながりを深めます

進路選択の幅を広げられるような支援と情報提供を行います

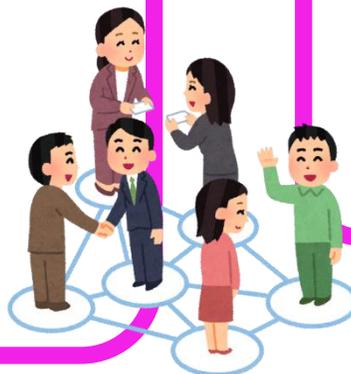


activities

将来



地域の関係機関と巡回相談や研修会、また情報共有等の連携を行いながら、校内・校外の子どもたちにより良い支援を提供します



夏の地域公開研修会を実施し、支援教育への理解を深めます

